

IBM IoT Connection Service

本「サービス記述書」は IBM がお客様に提供する「クラウド・サービス」について規定するものです。お客様とは、契約を結ぶ当事者、その許可ユーザーおよび「クラウド・サービス」の受領者を意味します。適用される「見積書」および「証書 (PoE)」は、別途「取引文書」として提供されます。

1. クラウド・サービス

IBM IoT Connection Service はデバイス・データを取り込み、当該データを意味を持つ洞察に変換します。それにより、オペレーターに完全な製品分析を提供し、メーカーに新たな製品設計を示します。本オファリングにより、電子機器や機器のメーカーは関連する製品のパフォーマンス・データや使用量データを収集して分析することができ、「つながる製品」の包括的な管理を展開します。

IoT Connection Service の機能には以下が含まれます。

- アプライアンス申請
- 登録、セットアップ、および認証
- デバイス・ユーザー ID のペアリング
- 「アラート」と「ダッシュボード」の作成
- リモートからのパフォーマンス・モニタリング
- セキュリティー
- データ・ライフサイクル管理
- 展開およびデバイス・グループ化のためのソリューション管理

1.1 IBM IoT Connection Service Sensor

本「クラウド・サービス」は、低コストのセンサー、駐車メーター、および街路灯を含む「センサー」クラスで利用されるデバイスでの使用を意図しています。下表は、本「クラウド・サービス」に含まれる「センサー・クライアント・デバイス」ごとの消費量を示すものです。

メッセージのサイズ (KB)	最大メッセージ数 (メッセージ/日)	Cloudant での保存 (日数)	Db2 Warehouse での保存* (月数)	生データから分析データへの転送のパーセンテージ	ObjectStore での保存 (月数)
0.2	96	30	3	100%	12

*注: IBM Db2 Warehouse on Cloud の旧称は IBM dashDB for Analytics です。

1.2 IBM IoT Connection Service Consumer

本「クラウド・サービス」は、消費者向けアプライアンスおよび消費者向け電化製品を含む「消費者」が利用するデバイスでの使用を意図しています。下表は、本「クラウド・サービス」に含まれる「消費者向けクライアント・デバイス」ごとの消費量を示すものです。

メッセージのサイズ (KB)	最大メッセージ数 (メッセージ/日)	Cloudant での保存 (日数)	Db2 Warehouse での保存* (月数)	生データから分析データへの転送のパーセンテージ	ObjectStore での保存 (月数)
0.5	500	30	3	100%	12

*注: IBM Db2 Warehouse on Cloud の旧称は IBM dashDB for Analytics です。

1.3 IBM IoT Connection Service Enterprise

本「クラウド・サービス」は、オフィス製品、コンピューター機器、ネットワーキング機器、およびドローンを含む「エンタープライズ」で利用するデバイスでの使用を意図しています。下表は、本「クラ

ウド・サービス」に含まれる「エンタープライズ・クライアント・デバイス」ごとの消費量を示すものです。

メッセージのサイズ (KB)	最大メッセージ数 (メッセージ/日)	Cloudant での保存 (日数)	Db2 Warehouse での保存* (月数)	生データから分析データへの転送のパーセンテージ	ObjectStore での保存 (月数)
4	1440	30	3	100%	12

*注: IBM Db2 Warehouse on Cloud の旧称は IBM dashDB for Analytics です。

1.4 IBM IoT Connection Service Industrial

本「クラウド・サービス」は、炭鉱機器、船用機器、および工作機械を含む「製造業」が利用するデバイスでの使用を意図しています。下表は、本「クラウド・サービス」に含まれる「製造業クライアント・デバイス」ごとの消費量を示すものです。

メッセージのサイズ (KB)	最大メッセージ数 (メッセージ/日)	Cloudant での保存 (日数)	Db2 Warehouse での保存* (月数)	生データから分析データへの転送のパーセンテージ	ObjectStore での保存 (月数)
1	86,400	30	3	30%	12

*注: IBM Db2 Warehouse on Cloud の旧称は IBM dashDB for Analytics です。

1.5 追加のサービス

1.5.1 IBM IoT Connection Service Non-Production Environment

お客様は、IoT アプリケーションを開発および構築してあらゆるタイプの接続デバイスをテストするために、および PoC (概念検証) を実行するために使用される、IoT Connection Service の非実稼働環境の「インスタンス」も購入できます。非実稼働の「インスタンス」ごとに、毎月最大 560 MB のデータ使用量をサポートし、以下を毎月の最大数として各デバイスに接続することができます。1000 の「センサー」デバイス、500 の「消費者」デバイス、50 の「エンタープライズ」デバイス、または 3 つの「製造業」デバイスをサポートできます。

1.5.2 IBM IoT Connection Service Capacity Unit のサブスクリプション・サービス

お客様は、Capacity Unit を使用する「デバイス」サブスクリプション・エンタイトルメントを超える、追加の「キャパシティ」をサブスクライブすることができます。これにより、お客様は、以下のサービスを使用して、「月」ごとに Capacity Unit を購入できます。

- IBM IoT Connection Service Sensor Capacity Unit
- IBM IoT Connection Service Consumer Capacity Unit
- IBM IoT Connection Service Enterprise Capacity Unit
- IBM IoT Connection Service Industrial Capacity Unit

1.5.3 IBM IoT Connection Service Capacity Unit Pay Per Use Services

お客様に権利として付与された「クラウド・サービス」のお客様による使用が、それぞれのデバイス・サブスクリプションに含まれる容量を超えた場合、所定の月に使用された超過容量をカバーするために、お客様には適用される Capacity Unit の従量課金サービスの料金が請求されます。従量課金サービスは以下のとおりです。

- IBM IoT Connection Service Sensor Capacity Unit Pay Per Use
- IBM IoT Connection Service Consumer Capacity Unit Pay Per Use
- IBM IoT Connection Service Enterprise Capacity Unit Pay Per Use
- IBM IoT Connection Service Industrial Capacity Unit Pay Per Use

1.6 IBM IoT Blockchain Services

1.6.1 IBM IoT Blockchain Service

このオプションの「クラウド・サービス」は、IoT ソリューションをブロックチェーン・ビジネス・ネットワークへ接続するために使用されることを意図しています。ブロックチェーンは分散型 Ledger テクノロジーで、複数の当事者が不変の共有データベースで情報の処理や保管ができるようになります。このデータベースは、すべての参加者に複製されます。IBM IoT Blockchain Service により、IoT データ・ソースはブロックチェーンの取引の接続、構成、書き込み、および読み取りを実行したり、ブロックチェーンに基づいたプロセスに参加したりできます。

1.6.2 IBM IoT Blockchain Service – Non-production

お客様は、IoT Blockchain アプリケーションを開発、構築してあらゆるタイプの接続デバイスおよびソリューションをテスト、PoC (概念検証) を実行するために使用される、IBM IoT Blockchain Service の非実稼働環境の「インスタンス」も購入できます。非実稼働環境の「インスタンス」はそれぞれ、毎月最大 400 の「デジタル・メッセージ」をサポートできます。

2. コンテンツおよびデータ保護

「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」(「データ・シート」)には、処理対象の「コンテンツ」の種類、発生する処理活動、データ保護機能、および「コンテンツ」の保存および返却に関する仕様書に関する、「クラウド・サービス」に固有の情報が記載されています。「クラウド・サービス」およびデータ保護機能に関する詳細または説明および条件(お客様の責任を含みます。)がある場合には、本条に記載されます。お客様が選択したオプションにより、「クラウド・サービス」のお客様による使用に適用される「データ・シート」が複数ある場合があります。「データ・シート」は英語のみの提供となります(現地言語での提供はありません)。現地の法律または慣習の慣行にかかわらず、両当事者は英語を理解していること、および「クラウド・サービス」の取得および使用に関して英語が適切な言語であることに同意します。お客様は、i) IBM が、IBM のみの裁量により、「データ・シート」を随時変更することができ、かつ ii) かかる変更された内容が変更前の内容に置き替わることを承諾します。

「データ・シート」に対する変更は、i) 既定の義務の改善もしくは明確化、ii) 最新の採用された基準および適用法への整合の維持、もしくは iii) 追加義務の規定のいずれかを行うことを意図しています。

「データ・シート」のいかなる変更も「クラウド・サービス」のセキュリティーを著しく低下させるものではありません。以下の「データ・シート」が「クラウド・サービス」およびその利用可能なオプションに適用されます。

適用される「データ・シート」へのリンク:

IoT Connection Service データ・シート

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=2B4539E04A4711E79342EA59690D4322>

IoT Blockchain Service データ・シート

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=80215F904D5111E79342EA59690D4322>

お客様は、「クラウド・サービス」の利用可能なデータ保護機能を注文、有効化、または使用するために必要な対策を講じる責任を負うものとします。お客様がかかる対策を講じることを怠った場合(「コンテンツ」に関するデータ保護またはその他の法的要件を満たさないことも含みます。)には、お客様は「クラウド・サービス」の使用に対して責任を負います。

EU 一般データ保護規則 (EU/2016/679) (GDPR) が「コンテンツ」に含まれる個人データに適用される場合に、その適用範囲に限り、<http://ibm.com/dpa> にある IBM の「データ処理補足契約書」(DPA) が適用され、本契約の一部として参照されます。本「クラウド・サービス」に適用可能な「データ・シート」は「DPA 別表」の位置づけです。

3. サービス・レベル・アグリーメント

IBM は、「PoE」に記載するとおり、「クラウド・サービス」に関して、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント(以下「SLA」といいます。)を提供します。「SLA」は保証ではありません。「SLA」はお客様にのみ提供され、実稼働環境における使用に対してのみ適用されます。

3.1 可用性クレジット

お客様は、「クラウド・サービス」が利用できず、業務に重大な影響が及んだことを最初に知り得たときから 24 時間以内に、IBM テクニカル・サポート・ヘルプデスクに対して「重要度 1」のサポート・チケットを記録するものとします。お客様は、あらゆる問題診断および解決に関して IBM を合理的な範囲で支援するものとします。

「SLA」の未達を申告するサポート・チケットは、契約月の末日から 3 営業日以内に提出するものとします。有効な「SLA」の申告に対する補償は、「クラウド・サービス」の実稼働システム処理が利用できない時間(以下「ダウンタイム」といいます。)に基づいた「クラウド・サービス」の将来の請求に対するクレジットになります。「ダウンタイム」は、お客様が当該事象を報告した時点から「クラウド・サービス」が復元される時点までの間で計測され、次のものに関連する時間は含まれません。保守のための計画停止または発表された停止、IBM の支配の及ばない原因、お客様または第三者のコンテンツもしくはテクノロジーの問題または設計もしくは指示、サポート対象外のシステム構成およびプラットフォームまたはその他お客様による誤り、またはお客様に起因するセキュリティーに関する事故もしくはお客様によるセキュリティー・テスト。IBM は、下表のとおり、各契約月における「クラウド・サービス」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。各契約月の補償の合計額は、「クラウド・サービス」に対する年額料金の 12 分の 1 の 10% を超えないものとします。

3.2 サービス・レベル

「契約月」における「クラウド・サービス」の可用性

「契約月」における可用性	補償 (申告の対象である「契約月」における 「月額サブスクリプション料金」*の割合)
< 99.8%	2%
< 99.0%	5%
< 95.0%	10%

*「クラウド・サービス」が IBM ビジネス・パートナーから取得されたものである場合、月額サブスクリプション料金は、申告の対象である「契約月」に対して有効な「クラウド・サービス」のその時点での最新の表示価格に基づいて計算され、それを 50% 割引した額となります。IBM は、直接お客様に払い戻します。

「可用性」は、以下のとおり算出されます。契約月における分単位の総時間数から、契約月における「ダウンタイム」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。

3.3 除外事項

「クラウド・サービス」は長期接続をサポートするプロトコルを提供します。接続の切断は「ダウンタイム」とみなされない点にご留意ください。接続のオープン状態には期限があります。お客様のデバイスまたはアプリケーションは適切な再接続論理を有していなければなりません。有効な接続試行が 5 分以内に完了しなかった場合はダウンタイムが始まります。

4. テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」のテクニカル・サポートは、電子メール、オンライン・フォーラム、およびオンライン問題報告システムを介して提供されます。IBM の IBM Software as a service support guide (https://www.ibm.com/software/support/saas_support_guide.html) には、テクニカル・サポートの連絡先情報

ならびにその他情報およびプロセスが規定されています。テクニカル・サポートは「クラウド・サービス」と共に提供されるものであり、別個のオフリングとして提供されるものではありません。

5. エンタイトルメントおよび課金情報

5.1 課金単位

「クラウド・サービス」は、「取引文書」に記載された課金単位に基づいて提供されます。

- a. 「クライアント・デバイス」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「クライアント・デバイス」とは、単一ユーザーのコンピューター・デバイスまたは特定目的のセンサーもしくは遠隔測定デバイスのうち、一般的にサーバーと称される別のシステムまたはそれ以外の場合にはサーバーで管理される別のシステムから、一連のコマンド、プロシージャー、またはアプリケーションを実行することを要求するか、当該の一連のコマンド、プロシージャー、またはアプリケーションを受けるものをいいます。複数の「クライアント・デバイス」で共通のサーバーへのアクセスを共有できます。「クライアント・デバイス」は、ユーザーが作業を実施できるように、何らかの処理機能を有するか、プログラムで制御することが可能な場合があります。お客様の「PoE」または「取引文書」に定める課金期間中に「クラウド・サービス」を実行する、「クラウド・サービス」にデータを提供する、「クラウド・サービス」により提供されるサービスを利用する、または「クラウド・サービス」にアクセスするすべての「クライアント・デバイス」に対してエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。
- b. 「キャパシティー・ユニット」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「キャパシティー・ユニット」は、「クラウド・サービス」の利用に関連する「キャパシティー」に関する別個の単位です。「キャパシティー」とは、転送されたデータや分析されたデータ、または保管されたデータなど、受け取ったり、含めたりすることのできる最大量をいいます。「証書 (PoE)」または「取引文書」に定める課金期間中に「クラウド・サービス」の利用に関連する「キャパシティー」の総数をカバーするのに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。
- c. 「インスタンス」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「インスタンス」は、「クラウド・サービス」の特定の構成へのアクセスを意味します。お客様の「PoE」または「取引文書」に定める課金期間中にアクセスおよび利用が可能な「クラウド・サービス」の「インスタンス」ごとに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。
- d. 「1000 デジタル・メッセージ」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「デジタル・メッセージ」は、「クラウド・サービス」が管理または処理する電子的なコミュニケーションです。お客様の「証書 (PoE)」または「取引文書」に定める課金期間中に「クラウド・サービス」が管理または処理する「デジタル・メッセージ」の総数 (1,000 単位で切り上げ) をカバーするのに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。

本「クラウド・サービス」において、以下は、各デバイス・タイプに対する「サブスクリプション」エンタイトルメントおよび「キャパシティー・ユニット」と同等です。

デバイス・タイプ別のサブスクリプションおよびキャパシティーに対するエンタイトルメントの詳細

Sensor (センサー)

サービス	単位	含まれるセンサー	センサー CU
Watson IoT Platform – Data Exchanged	データ 1 MB あたり	0.58	410.26
Watson IoT Platform – Realtime Insights	データ 1 MB あたり	0.58	177.78
Watson IoT Platform – Edge	データ 1 MB あたり	0.58	1066.67
Registration Service – Number of Devices	登録デバイスの数	1	31.00
Cloudant NoSQL DB – Data Storage	ストレージ 1 MB あたり	1.16	546.13

サービス	単位	含まれるセンサー	センサー CU
Db2 Warehouse on Cloud – Data Storage	ストレージ 1 MB あたり	2.18	470.80
Cloud Object Storage – Data Storage	ストレージ 1 MB あたり	6.98	18,204.44
Cloud Object Storage – Data Retrieval	ダウンロード 1 MB あたり	0.70	6068.15
Message Hub – Number of Messages	メッセージ数	5952	6,000,000
注: 以下のデータは、デバイスの数に関連するものではなく、インスタンスに関連するもの			
Cloudant NoSQL DB – Data Storage	ストレージ 1 MB	10,240.00	
AppID – Authorized Users (Operators)	許可ユーザーの数	5	243
AppID – Authenticated Events (Operators)	認証済みイベントの数	6200	134
Secure Gateway – Number of Gateways	ゲートウェイ数	1	50 CU = 1 ゲートウェイ
Secure Gateway – Data Transmitted	送信されたデータ 1 MB	512.00	546.13
Message Hub – Number of Partitions	区画の数	4	20 CU = 1 区画

Consumer (消費者)

サービス	単位	含まれる消費者	消費者 CU
Watson IoT Platform – Data Exchanged	データ 1 MB あたり	7.57	820.51
Watson IoT Platform – Realtime Insights	データ 1 MB あたり	7.57	355.56
Watson IoT Platform – Edge	データ 1 MB あたり	7.57	2133.33
Registration Service – Number of Devices	登録デバイスの数	1	61.00
Cloudant NoSQL DB – Data Storage	ストレージ 1 MB あたり	15.14	1092.27
Db2 Warehouse on Cloud – Data Storage	ストレージ 1 MB あたり	28.38	941.61
Cloud Object Storage – Data Storage	ストレージ 1 MB あたり	90.82	36,408.89
Cloud Object Storage – Data Retrieval	ダウンロード 1 MB あたり	9.08	12,136.30
Message Hub – Number of Messages	メッセージ数	31,000	11,000,000
注: 以下のデータは、デバイスの数に関連するものではなく、インスタンスに関連するもの			
Cloudant NoSQL DB – Data Storage	ストレージ 1 MB	10,240.00	
AppID – Authorized Users (Operators)	許可ユーザーの数	5	485
AppID – Authenticated Events (Operators)	認証済みイベントの数	6200	267
Secure Gateway – Number of Gateways	ゲートウェイ数	1	25 CU = 1 ゲートウェイ
Secure Gateway – Data Transmitted	送信されたデータ 1 MB	512.00	1092.27

サービス	単位	含まれる消費者	消費者 CU
Message Hub – Number of Partitions	区画の数	4	10 CU = 1 区画

Enterprise (エンタープライズ)

サービス	単位	含まれるエンタープライズ	エンタープライズ CU
Watson IoT Platform – Data Exchanged	データ 1 MB あたり	174.38	4102.56
Watson IoT Platform – Realtime Insights	データ 1 MB あたり	174.38	1777.78
Watson IoT Platform – Edge	データ 1 MB あたり	174.38	10,666.67
Registration Service – Number of Devices	登録デバイスの数	1	301.00
Cloudant NoSQL DB – Data Storage	ストレージ 1 MB あたり	348.75	5461.33
Db2 Warehouse on Cloud – Data Storage	ストレージ 1 MB あたり	653.91	4708.05
Cloud Object Storage – Data Storage	ストレージ 1 MB あたり	2092.50	182,044.44
Cloud Object Storage – Data Retrieval	ダウンロード 1 MB あたり	209.25	60,681.48
Message Hub – Number of Messages	メッセージ数	89280	54,000,000

注: 以下のデータは、デバイスの数に関連するものではなく、インスタンスに関連するもの

Cloudant NoSQL DB – Data Storage	ストレージ 1 MB	10,240.00	
AppID – Authorized Users (Operators)	許可ユーザーの数	5	2425
ApplID – Authenticated Events (Operators)	認証済みイベントの数	6200	1334
Secure Gateway – Number of Gateways	ゲートウェイ数	1	5 CU = 1 ゲートウェイ
Secure Gateway – Data Transmitted	送信されたデータ 1 MB	512.00	5461.33
Message Hub – Number of Partitions	区画の数	4	2 CU = 1 区画

Industrial (製造業)

サービス	単位	含まれる製造業	製造業 CU
Watson IoT Platform – Data Exchanged	データ 1 MB あたり	2615.63	41,025.64
Watson IoT Platform – Realtime Insights	データ 1 MB あたり	2615.63	17,777.78
Watson IoT Platform – Edge	データ 1 MB あたり	2615.63	106,666.67
Registration Service – Number of Devices	登録デバイスの数	1	3008.00
Cloudant NoSQL DB – Data Storage	ストレージ 1 MB あたり	5231.25	54613.33
Db2 Warehouse on Cloud – Data Storage	ストレージ 1 MB あたり	2942.58	47080.46
Cloud Object Storage – Data Storage	ストレージ 1 MB あたり	31,387.5	1,820,444.44
Cloud Object Storage – Data Retrieval	ダウンロード 1 MB あたり	3138.75	606,814.81

サービス	単位	含まれる製造業	製造業 CU
Message Hub – Number of Messages	メッセージ数	5,356,800	534,000,000
注: 以下のデータは、デバイスの数に関連するものではなく、インスタンスに関連するもの			
Cloudant NoSQL DB – Data Storage	ストレージ 1 MB	10,240.00	
AppID – Authorized Users (Operators)	許可ユーザーの数	5	24243
AppID – Authenticated Events (Operators)	認証済みイベントの数	6200	13,334
Secure Gateway – Number of Gateways	ゲートウェイ数	1	3
Secure Gateway – Data Transmitted	送信されたデータ 1 MB	512.00	54,613.33
Message Hub – Number of Partitions	区画の数	4	6

5.2 超過料金

課金期間中の「クラウド・サービス」の実際の利用が、「PoE」に記載されたエンタイトルメントを超える場合には、かかる超過が生じた月の翌月に、「取引文書」に記載された料金で超過料金が請求されます。

5.3 従量課金制

従量課金制の料金は、かかる使用の翌月に「取引文書」に記載された料金で請求されます。

5.4 請求頻度

選択された請求頻度に基づき、IBM は請求頻度期間の開始時点で支払い期日の到来している料金をお客様に請求します。ただし、後払いの対象となる超過分や料金の使用タイプは除きます。

6. 期間および更新オプション

「クラウド・サービス」の期間は、「PoE」に記述されるとおり、「クラウド・サービス」へのお客様のアクセスについて、IBM がお客様に通知した日に開始します。「PoE」には、「クラウド・サービス」が自動的に更新されるか、継続利用ベースで続行されるか、期間満了時に終了するかが記載されます。

自動更新の場合には、お客様が期間満了日の少なくとも 90 日前までに書面により更新しないことを通知する場合を除き、「クラウド・サービス」は、「PoE」に定める期間につき自動更新されます。更新には、見積書に記載されたとおりに年次の値上げが適用されます。「クラウド・サービス」の営業活動終了に関する IBM 通知を受領後に自動更新が行われた場合、当該更新期間は、現在の更新終了または発表された営業活動終了日のいずれか早期に到来する日に終了します。

継続利用の場合は、「クラウド・サービス」は、お客様が 90 日前までに書面により終了を通知するまで、月単位で継続利用することができます。「クラウド・サービス」は、かかる 90 日の期間後の暦月末日まで引き続き利用することができます。

7. 追加条件

7.1 共通事項

お客様は、IBM が広報活動またはマーケティングのコミュニケーションにおいて、お客様を「クラウド・サービス」の利用者として公に言及できることに同意します。

お客様は、「クラウド・サービス」を、単体または他のサービスもしくは製品と組み合わせて、高リスク活動、即ち核施設、公共交通システム、航空管制システム、自動車制御システム、兵器システム、または航空機の航行もしくは通信の設計、構築、管理、もしくは保守、または「クラウド・サービス」の障害が生命の危険や重大な人身傷害を引き起こすおそれがあるその他のいかなる活動のサポートのためにも使用しないものとします。